

学校だより

朝日丘

令和7年11月7日

氷見市立朝日丘小学校

氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

＜「主体性」と「自主性」の違い＞

主体性と自主性について、元麴町中学校長で、著書「学校の当たり前をやめた」で一躍有名になった工藤勇一さんは、次のように述べています。

「主体性」と「自主性」という言葉は似たような意味で使われますが、実はかなり違います。

「自主性」は簡単に言えば「自ら進んで行うこと」ですが、大人がやってほしいことを忖度して進んで行う姿も含めた言葉です。

一方、「主体性」は「自分で考えて、判断し、決定し、行動すること」ですが、自分で考えた結果、大人がやってほしいことをやらないと決めた姿も主体的な行動のひとつとしてとらえることができます。

これからの時代、社会はますます変化が激しくなります。子供たちがそんな世の中を自分の力で生きていくには、主体性が不可欠だと思います。以下に紹介する「ハロウィンフェスティバル」「サンライズ活動」は、主体性を育てたいと願って実践したものです。

＜ハロウィンフェスティバル＞

11月4日に、6年生が企画した「ハロウィンフェスティバル」が行われました。6年生が、「お化け屋敷」「缶たおし」「迷路」「ボウリング」「ダンス」「お玉レース」の6つの遊びのコーナーを準備し、5年生以下が縦割りのグループで、そのコーナーを回るといいます。本当に楽しい集会となりました。

集会の最後には、一人一人にお菓子の詰め合わせが配られました。これには、今年8月、育友会の有志の方々がひみまつりに出店した売上金を使わせていただきました。この日は、大学生（朝日丘小学校の卒業生）も一緒に焼きそばの販売を行いました。その売上金も寄付してくれました。ありがたく頂戴し、これからも、子供たちが楽しめる活動に使っていきたいと思います。育友会の方々、大学生のみなさんに、この場を借りまして、改めて御礼申し上げます。ありがとございました。



＜復活！ 秋のウォーキング（サンライズ活動）＞

11月5日に、サンライズ集会「秋のウォーキング」が行われました。気持ちのよい秋晴れの中、縦割り班ごとに、朝日山公園やふれあいの森周辺を散策しました。学校に戻ってからは、集めてきた落ち葉やドングリを使って造形作品を作りました。

サンライズ活動は、1996年にスタートしましたので、30年が経とうとしています。秋のウォーキングは、1999年から始まりました。それからは、年に2回ずつ、サンライズ活動が行われてきました。コロナ禍等もあり、しばらく実施していませんでしたが、本年度、復活することになりました。保護者の皆さんの中で、本校を卒業された方は、この活動を覚えていられるかもしれませんね。



＜ホームページ「朝日丘小学校の宝物」より＞

令和7年10月27日 生活科 「葉のにおい」 畑に植えたダイコンが大きく育ってきました。「葉っぱは、どんなにおいがするのか」と、顔を近づけて調べています。	令和7年10月27日 算数科 「形を生かす」 いろいろな形の箱を積み木のように使っています。グループで協力して、箱の形を生かしたものを作ることができました。	令和7年10月28日 家庭科 「親切」 家庭科でのミシンを使ったエプロン作り。仕上がった人は、友達に丁寧に教えてあげています。とても親切ですね。	令和7年10月29日 社会科 「分類する」 スーパーマーケットの仕事の工夫を、「並べ方」「サービス」などに類しています。グループで相談している雰囲気がいっぱい。
令和7年10月31日 体育科 「大盛り上がり」 ラグビーボールをバトンにして、リレー対決をしています。走る人も応援する人も一生懸命頑張っていて、大盛り上がりです。	令和7年10月31日 図画工作科 「協力」 木片を使っての工作。釘を打つときに、友達が棒を支えてくれました。手伝ってもらって、やりやすかったです。嬉しく感じます。	令和7年11月4日 ハロウィンフェスティバル 「ユーモア」 ハロウィンフェスティバルでは、音楽に合わせて楽しく踊るコーナーがありました。6年生がユーモラスなダンスを披露してくれました。	令和7年11月5日 サンライズ活動 「きれい！」 サンライズ活動（秋のウォーキング）で集めた落ち葉やドングリで造形作品を作っています。とてもきれいな作品ができました。